

「アマチュア無線の魅力向上アイデア」提案書

1. 提案者
 - ・氏名：戸田 宇彦 <<とだ ゆきひこ>>
 - ・年齢：
 - ・コールサイン： J K 1 U W K
 - ・連絡先 住所：
 - メール：
2. 提案カテゴリ（AまたはBを選択）

B アマチュア無線を知らない若者に興味を抱かせ資格取得を動機づけるアイデア
3. アイディア名：アマチュア無線家からヒーロー・ヒロインを！

関係省庁と連携して、災害時に、光モールス通信で負傷者情報を伝え災害救助を手助けする「災害通信ボランティア資格（任意団体の資格）」を創設する。当資格に合格した3アマ以上のモールス通信技能保持者が災害現場での活躍の受け皿となる。
4. アイディアの概要（200字以内）：

災害発生時に偶然居合わせたアマチュア無線家が無線機で手助けする感覚で、無線機がない環境下でも、光モールス信号を使い、光や音で救助連絡ができるようにトレーニングをし、活躍ができるための団体資格を関係省庁と連携し創設する。災害通信ボランティア資格を創設し、その育成・技能維持にアマチュア無線電信交信技能を使用。アマチュア無線技士が人命救助に大きく貢献することとなる。
5. 詳細説明（図表を含めて4頁以内）：

一例として、下から懐中電灯で、救助に来たホバリングしているヘリに負傷者の動かない箇所を光モールスにて伝達する。適切な固定器具が選択・釣り降ろされ、効率的に救助がなされる。

海上自衛隊でも探照灯の発光信号で光モールス技能の育成・使用がされており、自衛隊員との交信も可能で、そういう意味でも日頃モールスに慣れ親しむアマチュア無線技士が応用でき、習得可能なものと言える。

関係省庁と連携し団体資格創設を目指し、制度面からアマチュア無線の付加価値を創造し、アマチュア無線界の発展を促す。

プロジェクトチームを組織し、事前調査し、具体化する。

そして、できれば、災害発生から人命救助に至るシナリオを描いた映画を作成し、公開する。

なお、救助活動においても災害場所に偶然居合わせたアマチュアであり、音声で伝えることをモールスで伝えるということであり平易な定型文字列を伝達に使用し、責任は生じないものとする。（例えば右腕が動かないということ、R A (Right Arm) と送信するだけ）
6. 参考情報（任意） 参考資料：なし Web 情報：なし